GT-R Magazine

191 2026/Nov
令和8年10月1日発行・発売
（偶数月1日発行・発売）
通巻176号 第30巻 第6号
WEB CARTOP
https://www.webcartop.jp

純正イメージを残し
個性的にアップデート

“魅せる”Rメイク

Gマガオリジナル R32用サス開発開始!

窃盗団取材で見えた車両盗難の実情

BRIDE

NURMAN NUGRAIN& STRADIAⅢ NUGRAIN × BCNR33

松田次生選手が実装比較テスト フルバケットとセミバケット

ストリートでも使いやすいブリッドのバケットシート「ニュルマン」の登場で
シティユースとスポーツ走行を両立するセミバケットシートとの距離感が狭まっている。
その悩ましい選択を解決させるヒントを松田選手がテストを通じて伝授する

文：編集部　写真：芝 修

問ブリッド　☎052・689・2611　https://brideseats.com/

取材協力：モーターランド鈴鹿　http://www.motorlandsuzuka.com/

シートを選ぶポイントは重視するシーンと機能

シートの幅を広げているが、最適なドライビングポジションを確保できる標準のシートレールで装着できる『ブリッド』のバケットシート「ニュルマン」。ドライバーの体型に幅広く対応できるように設計され、同社のバケットシート「ジータⅣ」に比べるとゆったりと座れるのが特徴だ。もちろん、肩まわりや腰まわりのホールド性は確保されているので、運転中に体が不用意に動いてしまうことはない。つまりスポーツ走行に限らず、ストリートでもカーブなどで横Gや前後Gに耐えるため足を踏ん張ったり、腕で上半身を保持するなど無駄な力を入れずに済むわけだ。体型にもよるが、ジータⅣに比べるとシート幅があるため体が入りやすく抜きやすいといった優れた乗降性能も兼ね備えている。つまりストリートでも十分使用できるバケットシートなのである。

そこで気になるのがストリート用スポーツシートの代表格とも言えるリクライニング機構付きセミバケットシートの「ストラディアⅢ」との違いだ。同シートも肩まわりはもちろん、腰や腿のサポートも十分確保されている。

そこで松田次生選手に愛車のBCNR33オーテックバージョンで、ニュルマンとストラディアⅢの違いをミニサーキットでチェックしてもらった。どちらもヌグレ®を採用しているため、スポーティな佇まいだがシックな色調とソフトな肌触りの表皮が上質で、GT-Rのインテリカラーとのマッチングも良好だ。

「シート選びでもっとも重要なのが





松田選手の愛車R33オーテックでニュルマンとストラディアⅢをミニサーキットでテスト。タイトコーナーや中速コーナーでのホールド性などをチェックした



ニュルマンは腿から腰まわりのサイドサポートが広くなっている。体型にもよるがバケットシートでも体が抜きやすく乗降性に優れているのが特徴



シートベルトグロメットを装着しないことで、片側2㎜幅広にできるそうだ。ふくよかな体型の人にも対応できるようにミリ単位で幅広設計を施す



右がニュルマンで左がジータⅣ。同じバケットシートでもニュルマンのほうがシートバックが寝ている。これも幅広い体型に対応するための設計



NURMAN NUGRAIN

ニュルマン・ヌグレ

カラー：チャコールグレー
重量：約8.5kg
¥260,700

セミワイドモデルのバケットシート「ニュルマン」は、幅広い体型に対応。窮屈さがないのでストリート用としても十分に使える。ヌグレⓇの表皮は肌触りが良くシックな風合い





STRADIAⅢ NUGRAIN

ストラディアスリー・ヌグレ

カラー：チャコールグレー
重量：約14.5kg
スタンダードクッション／ロークッション
¥335,500

リクライニング機構付きセミバケのストラディアⅢは、ドラポジの自由度が高いので複数のドライバーが運転するクルマには最適。サーキットでも十分なホールド性を確保する

自分の体型に合っていることです。自分くらいの体型ではニュルマンはタイトすぎず緩すぎないのでストリートでもサーキットでも使えるバケットシートです。ストラディアⅢも同様で、セミバケットというジャンルには含まれますが、サーキット走行でも十分に通用するホールド性があることを確認できました。あえて違いを言えばシート重量です」と松田選手。

シート単体の重量は、今回テストしたニュルマン・ヌグレが約8・5kgに対し、ストラディアⅢ・ヌグレは約14・5kgと約6kg重い。サーキットのラップタイムを重視するなら軽いニュルマンを選ぶべきだろう。

「ストラディアⅢのようなリクライニング機構付きシートのメリットは、やはり利便性です。シートバックの角度を調整できるから、身長が異なる家族が運転するとき最適なドライビングポジションを取ることができます。また車内で仮眠をするときはシートバックを倒せられるので寝やすいですよね。さらに、2ドア車では後席へのアクセス性も見逃せないところです。運転席はバケットにして、後席へのアクセスは助手席側だけという割り切りもありますが」というのが松田選手の考え方だ。

このようにオーナーがどのようなシーンを重視するかが、シートを選ぶポイントのひとつでもある。価格面で比較するとバケットタイプのほうがリーズナブル。いろいろな要件を組み合わせて最適なシートを選んでほしいところだが、一番大切なのは試座して体に合った製品を選ぶことだ。シートレールなどのセッティングにこだわるショップを選ぶことも大切なポイントだろう。

ゆったりエレガントに座れる
BRIDE新シリーズ
NURMAN(ニュルマン)、
ついに登場。



NURMAN
(ニュルマン)

¥233,200~244,200(税込)

カーボン製シェル(CFRP)／
カラー 全4色:グラデーションロゴ・
ブラック・レッド・ブラックロゴ／
難燃生地／日本製／保安基準適合モデル

※写真のモデルは、NURMAN・レッド(HN1BSC)です。

BRIDE SPORT & RELAXING SEAT
BRIDE CO.,LTD.
ブリッド株式会社
BRIDE®は、
ブリッド株式会社の登録商標です。
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
電話.(052)689-2611 ファクス.(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

ブリッド&エディルブの最新情報は、こちら!
https://brideseats.com

Make the sitting happy